



# やまなし

第81号 2012年11月7日(年3回発行)

## 障害者文化展の紹介

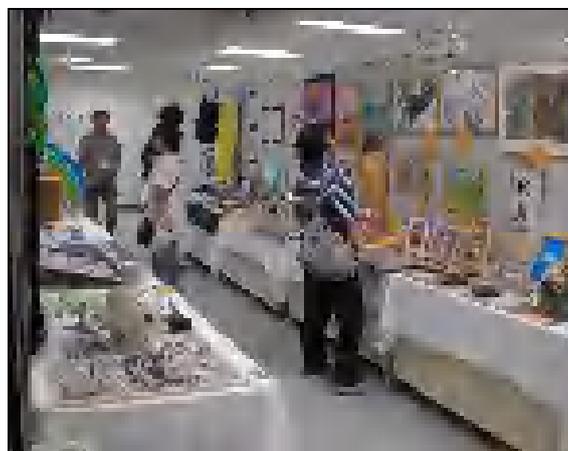
社会局事業部 障害者文化展担当  
河西 友美

障害者文化展は今年で第15回目を迎えました。山梨県障害者福祉協会が主催し、平成24年9月5日～9月10日までの6日間、山交百貨店の5階催事場で行われました。主旨は、障害をもつ人達の日ごろの芸術文化活動の成果を示す作品や、趣味や技術を活かした作品、リハビリテーション活動の中で作成した作品を展示することにより、県民の障害と障害者福祉に対する理解を深め、障害をもつ人が障害を克服し、自立と社会参加への意欲を高めることを目的として行っています。

障害者文化展にはふれあいコーナーというスペースが設けられ、視覚障害の方による点字教室や聴覚障害の方による手話教室があります。また、他者との交流を深める目的で、簡単な小物作り教室があります。事業部の仕事は、作品の搬入・搬出の他に、この小物作りの内容検討を行い実施しています。その際に作業療法の仕事内容などを説明し啓発活動の場として活用させて頂いています。このふれあいコーナーでは、各施設から1名が会場当番として、今年は計11名の方々にご協力いただきました。

### もくじ

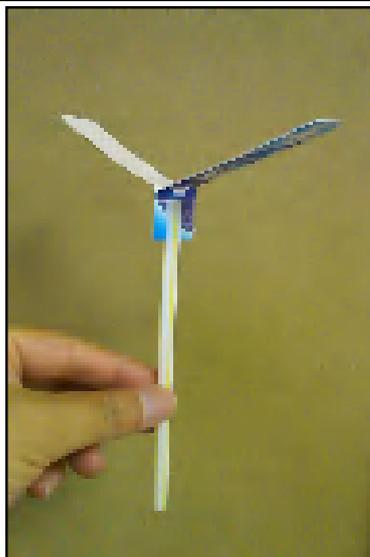
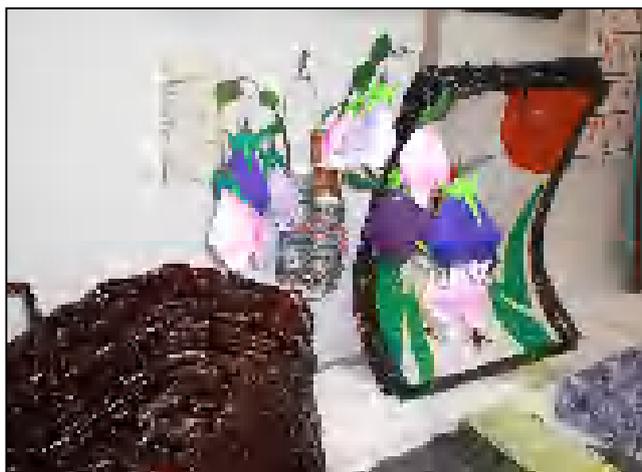
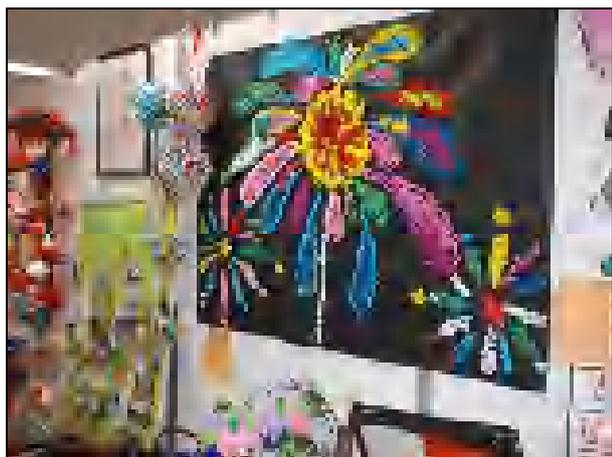
1p	障害者文化展の紹介
3p	身障だより
5p	精神科だより
6p	施設紹介
8p	welcome new face
9p	理事会だより
11p	会員手続きについて
12p	広告・編集後記



今回は、「紙パックで作る竹とんぼ」作りを行いました。(下記写真)ストローに、加工した紙パックを挿してできあがる簡単なものです。会場当番のスタッフの話では、「出来上がった作品に喜んでくれました。」「高齢者の方は昔を思い出しながら作っている様子が印象的でした。」「羽に模様を描いてもらいオリジナリティーを追求しました。」などの報告がありました。また、スタッフ自身からは「参加して頂いた方と一緒に楽しみながら作品を作ることができました。」「違うブースの方も気軽に話しかけてくれました。手話や点字を教えて頂き、大変貴重な体験ができました。」と感想が聞かれました。

私自身この仕事に携わり、普段の業務とはまた違った出会いや経験を積む事ができ嬉しく思いました。出品者の方に、作品を作る側にとってみんなに観てもらう機会があることは創作活動の大きな励みだという素敵なお話も伺うことができました。たくさんの時間をかけて作った作品や、みんながワイワイ作った様子が目に浮かぶ作品など、すばらしい作品に触れる機会が持て、とても良い時間となりました。

今年は6施設から20作品が集まりました。どの作品も一生懸命な姿があり、明るく生き生きとした様子が伝わってきました。みなさんもぜひ来年は機会を作り、障害者文化展に足を運んでみてはいかがでしょうか。たくさんの出品をお待ちしております。



## 身障便り

甲府共立病院リハビリテーション室作業療法部門 渡邊 江利子 石川 加奈子  
向山 勝樹 佐藤 麻紀  
大谷 沙織 柳場 啓子  
杉田 啓介

### 病院概要

当院は病床数283床、そのうち約150人の方にリハ処方が出ており、救急外来、循環器科、総合診療科、消化器科、外科、整形外科、呼吸器科全ての病棟に携わっています。また病院の在宅機能は、心臓リハ、透析リハがあり、隣接する甲府共立診療所では小児リハ、整形リハ、リハ特診、リンパ浮腫外来に対応しています。診療所には訪問リハ事業所もあり地域の要求に応えています。

### 病棟チーム

セラピストを内科系・外科系2チームにわけ、チームでの関りを大切に、分野ごとの専門領域を協力・支援しながら日々の業務に携わっています。また、PT・STとの連携も濃厚に意見・情報交換を行いながら、医師、看護師、CW、MSW、事務など他職種と一緒に医療活動を行っています。

### 疾患・患者層の紹介

脳血管疾患や整形外科疾患だけでなく、心不全や糖尿病、透析、肺炎の増悪を繰り返しながら生活されている方。治ることのない病を抱え、必死に闘いながら生き抜こうとされている方。貧困、生活困難により病を発症・増悪した方。年齢層は多岐に渡りますが、後期高齢者の方が多いのも特徴です。在宅や近隣施設、回復期病院へ転院されるなど行き先も様々です。また、整形外科では、認知機能低下、術後のせん妄の方への関りなど、多くの方々と毎日を精一杯に過ごしています。

### ランチオン学習会

木曜日にはお昼ご飯を食べながらOTみんなで勉強会をしています。毎回チューター役を決めて参考書やジャーナルなどを用いて行っています。今まで行った勉強会の一部は...「各病棟の特徴・疾患、非構成的評価、生活行為向上マネジメント、応用行動分析(訓練のコツ)等」です。また、事例検討なども行い切磋琢磨しながら患者さんを支援できるように励んでいます。

### 忘れえぬ方々との作業療法

Aさん(70代女性)は癌ターミナル期を過ごされながら在宅を目指した方です。入院当初から、癌性疼痛で笑顔が消え、無表情でした。ところが、ある日、集団で行った作業活動によって痛みを忘れる時間を過ごされると、それをきっかけに、痛みの合間を縫って塗り絵を描かれるようになりました。Aさんがお孫さんに塗り絵の本を一冊仕上げたいと願って、時間をかけて完成した時の喜ばしい笑顔は今でも忘れられません。

アルコール性認知症のBさん 精神病院に長期入院されていましたが、誤嚥性肺炎で当院入院。意志疎通が取れず、暴力が続き治療や処置が大変で、飛んできた拳でメガネを壊され大怒りのベテラン看護師。そんな中OT介入、近寄りたく怒っているだけのBさんの中にも、関係を崩したいわけではないという一面を発見。看護処置場面に一緒に入り、看護師一人一人がその一面を感じていくうちに、徐々に関係修復。ベッド上や車いす自走し散歩中などに敬礼や手を挙げ挨拶するなど、コミュニケーションが取れるようになり、すっかり病棟の人気者に。

10年間の橋の下生活から、アパート生活へ再スタートしたCさん。12月の寒さ厳しい中、橋の下で生活中に嘔吐・食欲不振にて救急搬送されたCさん。身体機能・ADLは問題が見られず、今後IADLや生活そのものを再構築していくことが必要でした。初めはOTが関ることに嫌悪感をあらわにされていましたが、毎日の傾聴から関係性を構築し、調理場面見学、ADL/IADL訓練を経てアパート生活に繋がりました。Dr・Ns・MSWなど多職種との関りを通して支援でき、今では2週に1度は来院し、セーターから半袖シャツに衣替えした元気な姿を見せに来てくれています！

肺炎にて入院したDさん。精査したところ、癌の終末期。残された時間も少ない。Dさんには予後も含めて告知。Dさんは、延命治療は望まず緩和的な支援が開始となった。家族や先生、友人などに感謝の気持ちを伝えたいと毎日コツコツと車椅子を自走して、お決まりの場所へ行き絵手紙を書く日が続く。Dさんは死への不安や副作用によりせん妄出現。その中でも絵手紙を作り続けました。本人の動けなくなるまで家に帰りたいと言う気持ちを家族も応援。在宅調整を行い寝たきりになっても生活できる環境設定をしました。念願のおうちに帰り、在宅で時間を過ごし、Dさんは最期を迎えられました。絵手紙はみんなの下に届けられ感謝の気持ちが伝えられました。

#### まとめ

リハビリテーション病院が多いこの山梨の地で、「内部疾患・急性期の作業療法」とはどんなことやっているんだろうと思われていた方も多いのではないかと思います。紹介した4例のように、急性期～終末期まで様々な方々と私達OTは出逢います。そして、対象者を中心としたいろいろな作業療法を展開しています。

今回「身障だより」の原稿依頼があり、ほんの一部ですが当院の作業療法を紹介でき、ありがたいと思っています。今年度の甲府共立病院作業療法部門のスローガンは「今やっている作業療法を、あらゆる対象者に語れるようになるう！」なのです。まさにグッドタイミングでした。本稿も皆で分担し作成しました。ありがとうございました。



## 精神科だより

当院でも嚥下についての取り組みが始まりました

峡西病院 浅野 享子

私の担当している認知症治療病棟では、認知症による機能低下や薬の作用で活動性の低下がみられ食事摂取の困難な方が多くなっています。そのため、口腔ケア・嚥下・食事摂取について考える機会が増えました。以前より嚥下訓練をプログラムに取り入れたり、病棟職員が口腔ケアなど気に掛け関わっていたのですが、最近是个々の職種がそれぞれに関わることに限界があるのではないかと感じていました。そんな中、認知症病棟だけではなく、精神科病棟の他職種からも口腔ケア・嚥下について今まで以上の関わりが必要ではないかとの意見が聞かれました。意見が出た理由として精神科では長期入院の方の高齢化の他に薬の副作用、早食い、盗食など食事の状況や環境などの問題がありました。今年度は病院全体の課題として口腔ケア・嚥下に取り組むことになりました。しかし評価を含めどのように進めたら良いのかも分からない状態なので、嚥下に詳しい歯科医師を講師に呼び勉強会を開いたり、県で行われている勉強会に参加し、基本的な情報から集めるところから始めました。また嚥下に取り組んでいる身障の病院に見学へ行くなど他職種と一緒に学んでいます。勉強会や見学に行き、他分野では、嚥下に対しての取り組みが大きく進んでいるのだと思いました。

毎日の食事をおいしく食べるということは心と体の健康を保ち、QOLを高め、人生をより一層豊かなものにしてくれます。

普段の関わりの中で患者様の呼吸の変化、摂食・嚥下機能の変化に気づき、状態に対応した口腔ケア・リハビリテーションを行っていくことが大切ではないかと思えます。これからは患者さんにとって楽しみの一つでもある食事を実際の場面でどのように実施していくのか、まだまだ模索中ですが他職種と協力しながらチームとして取り組んでいけたらと思っています。



## 施設紹介

医療法人銀門会 甲州ケアホーム  
甲州通所リハビリテーション一宮事業所

森 彰司

所在地：山梨県笛吹市一宮町塩田741-1

TEL：0553-47-6602

FAX：0553-47-6606

### <一宮事業所概要>

一宮事業所は平成24年4月に建設され、診療所、通所リハビリ事業所、訪問リハビリ事業所、訪問看護サテライト事業所があります。

### <診療所>

住み慣れた我が家、住み慣れた地域で安心して生活できるように、医学的管理や健康相談等を行います。10月からは在宅療養支援診療所となり、24時間の支援を開始します。

診察科：内科、リハビリテーション科

診療日：外来（月・水 9:00～12:00）

訪問診療（月曜～金曜 13:00～17:30）



### <訪問リハビリテーション>

ご自宅で、よりよい生活の獲得を目指して、動作評価や練習、介助方法のアドバイスや福祉用具、住宅改修の提案等を行います。また、外出や生きがいづくりなど地域との接点を視野に入れ、生活上のリハビリを実施します。

営業日時：月曜～金曜 8:30～17:30

訪問地域：笛吹市、山梨市、甲州市、富士吉田市、富士河口湖町

スタッフ：理学療法士：1名、作業療法士：2名（通所リハ兼務1名）



### <通所リハビリテーション>

営業日時：月曜～金曜 8:00～17:00

定員：40名（平成24年4月～8月は20名、9月～40名）

送迎範囲：笛吹市（一宮、御坂、八代、石和）山梨市、甲州市

【一宮事業所通所リハ スローガン】

「一宮からはじめよう～顔が見えるつながりの輪～」

ご利用者・ご家族の皆様、地域の皆様、ケアマネジャーの皆様などと顔を合わせてつながりを深めたいという思いで、スローガンを決定しました。

【スタッフ】

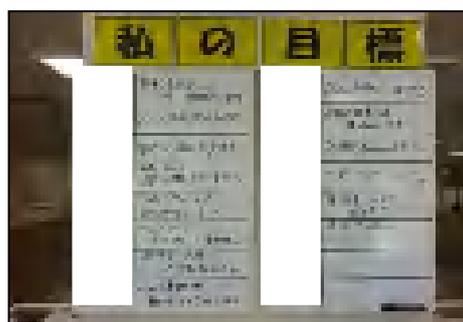
医師、看護師（診療所兼務）、保健師（相談員）：各1名、介護職員：5名、理学療法士：1名、作業療法士：2名（訪問リハ兼務1名）

【内容】

パワーリハや歩行練習以外にも、料理、絵手紙、書道、麻雀など、活動性を向上するメニューを少しずつ増やしています。



目的意識を高め、なるべく主体的な動きを引き出せるように試行錯誤しています。



### <おわりに>

新規事業所の立ち上げは、全スタッフが初めてのことで、日々試行錯誤しています。より効果的な在宅サービスを提供するために、作業療法士がどのように機能していけば良いか、これからも悩みながらチャレンジしていきたいと思えます。

# WELCOME NEW FACE!!

所属施設	氏名	所属施設	氏名
石和共立病院	金丸 順子	石和共立病院	酒井 知夏
石和共立病院	渡邊 祐大	回生堂病院	山本 憲典
介護老人保健施設 はまなす	坂本 佳織	峡西病院	近山 智香
日下部記念病院	三枝 広平	甲州リハ`リテーション病院	千葉 千聡
甲州リハ`リテーション病院	小宮山 航	甲州リハ`リテーション病院	涌井 大樹
甲府城南病院	渡邊 祥登	笛吹中央病院	小尾 健太郎
笛吹中央病院	小林 千紘	富士温泉病院	五十嵐 早紀
富士温泉病院	明神 美都	山梨リハ`リテーション病院	坂田 香奈恵
北杜市立甲陽病院	伊藤 英明		

(敬称略・順不同)

\*平成24年6月9日から平成24年9月30日までに新たに事務局に登録した会員の情報を基に作成しました。

## 理事会便り

### 一般社団法人 山梨県作業療法士会 2012年度 第4回 理事会議事録

日 時：平成24年6月27日(水)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、三瀬、佐藤、長坂、宇野、松田、  
有泉、工藤、関谷、白木原；11名

#### 1.副会長(広田・古屋)

1)平成24年6月14日(木)都道府県作業療法士会  
連絡協議会総会に広田真由美が参加。

#### 2.事務局(三瀬)

<管理部>

1)会員数478名 賛助会員2件：健康科学大学、  
酒井医療株式会社(平成24年6月26日現在)

#### 3.学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

<企画研修部>

1)士会主催の研修会の参加費について、学生は無料、  
他職種は500円、会員外の作業療法士は1000  
円とすることを検討し、理事会にて承認。

#### 4.常設委員会(関谷)

<福祉用具委員会>

1)福祉用具委員会主催研修会  
日 時：平成24年6月3日(日)

会 場：大木記念ホール

参加者：県内30名 県外2名

<訪問リハビリテーション委員会>

1)委員長として長坂真由美(甲府城南病院)が決定、  
委員が1名増加。

<特別支援教育委員会>

1)委員長として富士宮秀紫(山梨県立こころの発達  
総合支援センター)、委員13名で第1回委員会を  
開催。

### 一般社団法人 山梨県作業療法士会 2012年度 第5回 理事会議事録

日 時：平成24年7月31日(火)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：広田、古屋、三瀬、佐藤、長坂、宇野、松田、  
青木、工藤、関谷、磯野、白木原、有泉；13  
名

#### 1.副会長(広田・古屋)

1)平成24年7月28日(土)都道府県作業療法士会  
連絡協議会へ広田真由美が参加。

2)平成24年7月28・29日(土・日)第10回都道  
府県作業療法士会合同役職者研修会へ古屋豊美  
が参加。

#### 2.事務局(三瀬)

1)中北地域リハビリテーション広域支援センターよ  
り、第1回連絡会に三瀬和彦が出席。

2)日本作業療法士協会より「訪問リハビリテーシ  
ョン地域リーダー育成会議参加者推薦」を受託。  
長坂真由美(甲府城南病院)を理事会にて推薦。

<管理部>

1)会員数486名(平成24年7月31日現在)

<財務部>

1)士会使用の領収書を作成、統一することを理事  
会にて承認。

#### 3.広報局(工藤)

<企画編集部>

1)平成24年7月12日(木)広報誌を発送。

#### 4.学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

<生涯教育部>

1)現職者共通研修

日 時：平成24年7月10日(火)

会 場：山梨リハビリテーション病院

テーマ：作業療法における協業・後輩育成

講 師：中村雄(健康科学大学)

参加者：51名

2)現職者共通研修

日 時：平成24年7月25日(水)

会 場：大木記念ホール

テーマ：職業倫理

講 師：関谷宏美(甲州リハビリテーション病院)

参加者：44名

### 5.常設委員会(関谷)

#### <福祉用具委員会>

- 1)山梨県福祉用具相談アドバイザーが大平純江(自宅)と関谷宏美(甲州リハビリテーション病院)に決定。

### 一般社団法人 山梨県作業療法士会

#### 2012年度 第6回 理事会議事録

日 時：平成24年8月29日(水)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、長坂、宇野、松田、青木、関谷、磯野、白木原、有泉；12名

#### 1.事務局(三瀬)

##### <管理部>

- 1)会員数473名(平成24年8月29日現在)
- 2)平成24年8月25・26日(土・日)日本作業療法協会会員管理システム講習会へ事務局管理部員梶山孝政(甲府城南病院)が出席。

#### 2.学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

##### <企画研修部>

日 時：平成24年8月8日(水)

会 場：山梨県立青少年センター

テーマ：摂食・嚥下機能障害のある高齢者のリスク管理

講 師：遠藤みどり氏(山梨県立大学看護学部)

参加者：会員142名 非会員15名

##### <生涯教育部>

##### 1)現職者共通研修

日 時：平成24年8月26日(日)

会 場：健康科学大学

テーマ：事例検討方法論

講 師：黒崎真樹(健康科学大学)

参加者：33名

テーマ：エビデンスと作業療法実践

講 師：小沢健一(健康科学大学)

参加者：35名

### 3.常設委員会(関谷)

#### <訪問リハビリテーション委員会>

- 1)理学療法士会、言語療法士会、作業療法士会の合同会議を行った。

### 一般社団法人 山梨県作業療法士会

#### 2012年度 第7回 理事会議事録

日 時：平成24年9月24日(月)

会 場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、三瀬、長坂、宇野、工藤、松田、青木、佐藤、関谷、磯野、白木原；14名

#### 1.事務局(三瀬)

##### <管理部>

- 1)会員数473名(平成24年9月24日現在)

##### <財務部>

- 2)都道府県作業療法士会連絡協議会平成24年度会費納入。

#### 2.学術局(佐藤・青木・有泉・白木原)

##### <企画研修部>

日 時：平成24年9月8日(土)

会 場：山梨県立青少年センター

テーマ：カナダ作業遂行測定～COPM～

講 師：吉川ひろみ氏

(県立広島大学保健福祉学部)

参加者：会員83名

##### <生涯教育部>

##### 1)現職者共通研修

日 時：平成24年9月18日(火)

会 場：大木記念ホール

テーマ：日本と世界の作業療法の動向

講 師：藤田賀子氏(日本医科大学付属病院)

参加者：48名

##### <学術大会運営部>

- 1)運営部員46名(14施設決定)

### 3.常設委員会(関谷)

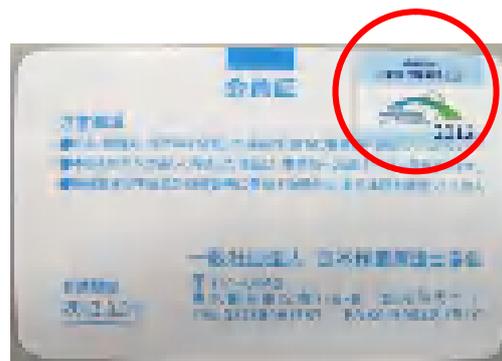
#### <訪問リハビリテーション委員会>

- 1)平成24年9月6・7日(木・金)第3回訪問リハ・地域リーダー会議に長坂真由美(甲府城南病院)が出席。

## 一般社団法人 山梨県作業療法士会 会員シールの取り扱いについて

今年度より、入会申請書及び会費の納入が確認された正会員に「会員シール」を発行しております。「会員シール」は、日本作業療法士協会会員証裏面に貼付（下記参照）し、士会主催の学会および研修会等に参加する場合は、必ず提示して下さい。

なお、「会員シール」の再発行は行っておりませんので、本証を紛失されないようご注意ください。



### 一般社団法人 山梨県作業療法士会会員手続きについて

#### 入会について（会員の構成）

1. 正会員 一般社団法人日本作業療法士協会の正会員である者で、山梨県内に常勤または在住し、当法人の事業に賛同して入会した個人（作業療法士対象）
2. 賛助会員 当法人の目的に賛同し、事業を賛助するために入会した個人または団体
3. 名誉会員 当法人の事業に顕著な功勞のあったもの又は学識経験者

**いずれも理事会での承認が必要となります。特に賛助会員に関しては、賛助内容を明確に提出して頂き、理事会にて検討させていただきます。**詳細につきましては、一般社団法人山梨県作業療法士会定款「第二章 会員」をご覧ください。

入会においては山梨県作業療法士会から一般社団法人山梨県作業療法士会へは自動移行となりませんので、必ず新規に入会手続きをお願い致します。

#### 会員手続きについて

各種申請書（入会申請書／登録変更届／休会・復会届／退会届）を当士会ホームページからダウンロードして頂き、事務局 管理部まで郵送またはFAXにてご連絡ください。特に、変更届については、変更があり次第ご連絡頂きますようお願いいたします。

#### 連絡・送付先

一般社団法人 山梨県作業療法士会 事務局 管理部  
〒400-0831 山梨県甲府市上町753-1  
甲府城南病院 リハビリテーション部 作業療法科内  
FAX：055-241-8660（代）  
TEL：055-241-5811（代）

現代の医療・福祉・心理の専門家をめざす



**健康科学大 10th**  
HEALTH SCIENCE UNIVERSITY 10th ANNIVERSARY

健康科学大 10th Anniversary  
健康科学大 10th Anniversary

<http://www.keikoudai.ac.jp>

TEL 055-233-5240

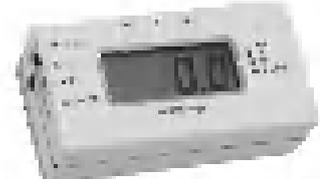
SAKAIPO

標準電力計 モービー



標準電力計の高スタンダード  
サンプルのみを高機能、更に安心価格で御出し

標準電力計 (M-10) 標準電力計  
標準電力計 (M-10) 標準電力計



標準電力計 (M-10) 標準電力計



標準電力計 (M-10) 標準電力計

標準電力計 (M-10) 標準電力計

## 編集後記

スマートフォンでも小説などが読めることを知りました。便利だけどやっぱり紙の手ざわりとか所有感の本だよなあ、と思ったりする読書の秋です(飯)

煙草を止めて3か月、新たな問題に直面です。ごはんが美味しくついでに食べ過ぎに..... そのおかげで、ただでさえ弱い胃に負担が.....(つ)

9月に全国研修会(兵庫)に行ってきました。ちょうど帰る日にまさかの台風が。帰れないかと思いましたが、無事にその日のうちに帰りました。(米)

昔は夏になると海によく行きましたが、最近は温泉ばかりになりました。海ではしゃぐ元気はもうありません。(精進)

姉が結婚します。お幸せに。(今)

とつても、とつても、はえてくる雑草ってすごいなあ、と感じる今日この頃。くじけました。(ふ)

寒くなってきました。富士吉田では、お彼岸すぎたらおコタだそうで。。。いいかも。(内)

食欲の秋ということで、体重が3キロ増えたので職場で毎日筋トレを頑張っています。冬到来までに痩せたいと思います。(梶)

近々晩晩と寒くなり、布団にくるまって寝ることに幸せを感じています。(土)

息子が通っているスポ少サッカーのお迎えが寒くなってきました。頑張っている姿に心打たれる今日この頃です。(く)

発行人：山本 伸一

編集人：工藤 亮・飯野 知一・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香・今泉 隼・精進 智規・金田 勇一

発行所：一般社団法人 山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

しらゆり訪問看護ステーション 〒400-0114 山梨県甲斐市万才287 TEL 055-276-1155

FAX 055-279-1262

印刷所：(株)島田プロセス 〒409-3867 山梨県中巨摩郡清水新居1534 TEL 055-233-8829